

研究報告書

1) 研究課題名

和文：放射線治療の患者説明ビデオの作成

英文：Instruction video for patients treated by radiation therapy

2) 研究グループ代表者及び構成員の氏名・所属

和文：中村和正（研究代表者）¹、赤木由紀夫²、永倉久泰³、永田 靖⁴、根本建二⁵、光森通英⁶、村上祐司⁴、和田 仁⁷、大西洋⁸、佐々木智成¹

1. 九州大学 臨床放射線科
2. 広島平和クリニック 高精度治療センター
3. KKR札幌医療センター 放射線科
4. 広島大学 放射線治療科
5. 山形大学 放射線腫瘍学
6. 京都大学 放射線治療科
7. 宮城県立がんセンター 放射線治療科
8. 山梨大学 放射線科

英文：Katsumasa Nakamura¹, Yukio Akagi², Hisayasu Nagakura³, Yasushi Nagata⁴, Kenji Nemoto⁵, Michihide Mitsumori⁶, Yuji Murakami⁴, Hitoshi Wada⁷, Hiroshi Onishi⁸, Tomonari Sasaki¹.

1. Department of Clinical Radiology, Kyushu University, Fukuoka
2. Hiroshima Heiwa Clinic High-precision Radiotherapy Center, Hiroshima
3. Department of Radiology, KKR Sapporo Medical Center, Sapporo
4. Department of Radiation Oncology, Hiroshima University, Hiroshima
5. Department of Radiation Oncology, Yamagata University, Yamagata
6. Department of Radiation Oncology and Image-Applied Therapy, Kyoto University Hospital, Kyoto
7. Department of Radiation Oncology, Miyagi Cancer Center, Miyagi
8. Department of Radiology, Yamanashi University, Yamanashi

3) 研究背景と目的

近年、放射線治療の有効性は広く知られるようになったが、依然として放射線治療に漠然と不安を抱いている患者も多い。患者の権利意識の高まりに伴い、放射線治療に対する詳細な説明を求められることも多く、多忙を極める状況の中で、十分な説明の時間を確保することが難しくなっている。このような状況下では、限られた時間内に効率的に、治療の内容、効果、有害事象などを患者に説明し、十分な理解と合意を得ることが求められている。

本研究の研究分担者の根本らは、平成17・18年度研究課題「放射線治療に関する患者説明用ビデオの作成に関する予備調査」にて、他の医療分野での説明用ビデオの収集、映像メディアの選択などの様々な検討を経て、放射線治療全般用のビデオを試作した。これは、放射線治療機器、治療開始までの流れ、実際の治療等を画像と音声で説明するものであり、実際に試用を開始した¹⁾。本研究の目的は、平成17・18年度研究課題を引き継ぎ、放射線治療全般用のビデオに加えて、放射線治療の主な対象疾患の説明ビデオを作成し、ホームページで公開し、多くの放射線治療

施設に提供することである。

4) 材料 (対象) と方法

実際のビデオ作成には外注すれば高額な予算が必要となる。そのため、パワーポイントにて各疾患の放射線治療の説明原稿を作成し、それを元にビデオファイルを作成することとした。

研究グループの会合としては、日本放射線腫瘍学会および日本医学放射線学会の期間中に会議を持ち、方針の決定および進捗状況の確認を行った。

平成19年度に、研究メンバーで検討を重ね、説明ビデオが必要な主要疾患 (頭頸部がん、食道がん、肺がん、乳がん、前立腺がん、子宮頸がん) を決定した。全体の構成として、全般事項の簡単な説明に各疾患に特徴的な内容を加え、5-10分程度の長さとした。パワーポイントにて説明スライドを作成したが、なるべく動画も含めて作成することとした。

放射線治療全般についてのビデオについては、平成17-18年度の研究課題に引き継ぎ、根本、和田ら (山形大学) を中心にビデオ作成を継続し、公開版を完成させた。乳がんについては、すでに広島大学で作成している説明ビデオを元に追加編集した。

平成20年度では、前年度の打ち合わせをもとに、各担当者がパワーポイントにて、頭頸部がん、食道がん、肺がん、前立腺がん、子宮頸がんの説明コンテンツを作成した。その内容が適切であるかどうかをメンバー内で相互チェックし、最終原稿を完成させた。

著作権は原則として作成者とし、画像やBGMについては、自作するか、または著作権フリーのものを使用した。またホームページの利用規約、免責条項の記載を定めた。

パワーポイント原稿を元に、Corel VideoStudio 12等のビデオ編集ソフトウェアを用いて、音声を加えた動画ファイルをWMV形式 (Windows media player対応) にて作成した。ナレーションは女性の声で録音することとし、多くの方にボランティアで録音に参加していただいた。

公開方法については、ホームページを作成し (ソフトウェア : BiND for WebLiFE2)、ホームページ上で説明用の動画コンテンツを公開し、自由にダウンロードできるようにした。サーバーは、UMIN (大学病院医療情報ネットワーク) を利用し、2009年4月にホームページを公開した (<http://plaza.umin.ac.jp/rt-video/>) 。

5) 研究成果

図1-3に、本ホームページの内容の一部を示す。「放射線治療全般」、「頭頸部用固定具の作成」、「頭頸部がん」、「食道がん」、「肺がん」、「乳がん」、「前立腺がん」、「子宮頸がん」の合計8本のビデオをアップロードし、公開した。

「放射線治療全般」、「乳がん」についてはWMV形式に加えて、MEG-4形式でもファイルをアップロードし、iPad等でも使用できるようにした。

2013年12月8日現在で、アクセス数は15,955件、44,437ページビューであった。

6) 結論

放射線治療の説明用ビデオ（動画コンテンツ）を作成し、研究メンバーの検討を経て、公開した。各動画コンテンツは、放射線治療の説明用、一般啓蒙用、医学教育用として自由に用いることができ、意義は大きいと考えられた。

* 謝辞

本コンテンツ作成にかかわっていただいた多くの方々に感謝いたします。

7) 文献

1) 和田仁、野宮琢磨、渡会文果、根本建二. 放射線治療患者に対する説明用ビデオの作成. Radiat Med 26, 12, 2008

8) 本研究課題の掲載論文

なし